

おめでとうございます

あけまして

2010年頭のあいさつ

共通目標をしつかり定めながら協力、努力していく年に

一戸町長 稲葉 暉



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今までにない厳しい問題が山積している状態ではありますが、それを少しずつ克服していくための共通目標をしつかり定めながら、協力、努力していく年になることを町民の皆さんに期待しています。

また、あらかじめ防ぐ、つまり事態が悪い方向に行かないように、早め早めに正しい方向に手を打ち続けることも、一層重要になる局面でもあります。

例えば、ゴミの問題でも従来通りの処理であれば、多額の処理費が掛かり続けるだけでなく、地球温暖化が進む方へ加担し、ダイオキシンの増加し続けます。思い切った生ゴミを肥料やガスに資源化し、汚れたプラスチックや紙も分別し、

資源化するならば、これと全く逆の世の中のプラスになることばかりが生まれてきます。一人ひとりの生活習慣を変えればできることですし、皆で協力し合えば、完全な効果を勝ち得ることが出来ます。

健康づくりも全く同じであると思います。一人ひとりが生活習慣を思い切った変え、皆が協力して同じペースで行い、また支え合うならば、その効果は著しいものでありましょう。

皆が若々しく健康になれば、一人ひとりが幸せになるだけでなく、地域社会全体が幸せになると思いますし、それが本当の意味の幸せだと思います。確か宮沢賢治にも同じような言葉があったはずで

副産物として医療費、介護費が半分に

なるかもしれません。そうなると社会保障制度の整備もしやすくなるし、不完全な社会保障に不安ばかり感じなくても良いようになるでしょう。

地域の富を生み出す一番身近な自然な手段としての農業の再生についても同様を考えます。その再生の芽は産直の活動の中に、よりはっきりと見受けられます。

農家の皆さんが自立しながら、競い合いつながり、同じ屋根の下にしっかりと協力して、消費者の皆さんと交流し合う。今までやったことなかった販売をしながら、自信を深めている。これまでの人頼り、組織頼りの在り方からの大きな転換です。さらに発展があると考えます。

行政としてこのような皆さんを強力に支援しながら、がんばりたいと思います。

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、十一月八日に執行されました町議会議員選挙におきまして、新人五人を含む新たな十六人の議員が誕生しました。今後四年間は、この議員が一丸となつて、町の明るい未来を創るために新たな議会活動を展開していきますので、どうか、よろしくお願い申し上げます。

さて、国政においては新政権が誕生し、これまでの国の行財政制度全般にわたり、見直しが行われています。国と地方の在り方についても新たな仕組みが導入されようとしており、今後、地方分権は一層進むものと期待されています。

一方、経済的には世界同時不況の影響から、未だ景気回復の見通しが立たず、

深刻な不況が続いており、雇用環境は、極めて厳しい状況にあります。特に地方は、有効求人倍率の低迷など、厳しさが一層増しており、喫緊の対応が国や地方自治体に求められています。

このような時代の急激な変化の中にあつて、地方議会はどのような立場で活動を展開していくべきか。わたしは、議会活動の基本は、町民の生活向上を第一に考え、行政との両輪として活動していくことは、変わらない使命であると認識しています。

加えて、議決機関として、また行政のチェック機関としての役割は、今後ますます重要になってくるものと思われまが、その役割を果たし、議会自らも時代の要請にあつた自己改革や活動を展開し

ていく時期であるとも考えています。

具体的には、議会基本条例の制定や、この条例に基づいた議会活動報告会などの実施についても議論を重ね、その実現に向けて積極的に取り組んでいく任期になるものと認識しています。

さらには、前述した雇用問題や産業振興などの重要課題につきましては、国や県に対して、議会としても積極的な要望活動を展開していくことが必要であると考えています。

結びとなりますが、新たな十六人の議員が自己研鑽を重ね、全力を尽くして参ることを重ねて表明させていただきますとともに、新たなこの一年が、一戸町と町民の皆様にとって良き年でありまうに、心からご祈念申し上げます。

町民の生活向上第一。行政との両輪としての活動が使命

一戸町議会議長 田村繁幸

